



## 2022(令和4)年5月例会ご案内

### <古市古墳群を歩く>



令和元年に世界文化遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群」、今回は登録された49基の内26基がある古市古墳群を巡ります。

又この地には菅原道真に縁の深い道明寺天満宮や道明寺、聖徳太子建立と伝わる野中寺などがあり歴史と文化の街を訪ねます。

**日 時** 2022(令和4)年 5月8日(第2日曜日)

### コ ー ス

近鉄/道明寺駅[集合場所] ～～ 道明寺天満宮 ～～ 道明寺～～三ツ塚古墳  
(拝 観)

～～ 仲津山古墳/古室山古墳～～大鳥塚古墳～～ 誉田丸山古墳 ～～  
(昼 食)

応神天皇陵 ～～～ 野中寺 ～～ 仲哀天皇陵～～アイセルシュラホール～～

葛井寺～～近鉄・藤井寺[解散場所]

\_\_\_\_\_ 印 トイレ所在地

- ◆ 行 程 : 約7km。平坦な行程です。  
全員集合場所・時間:近鉄/道明寺駅 改札出口9時25分
- ◆ 解散場所と解散時間:JR/近鉄王寺駅 午後4時ごろ
- ◆ 服 装 :水筒、雨具など持参。歩きやすい靴・服装で

◆ 集 金 : 道明寺拝観料 @500円を集金します。(団体割引なし)

◆ 食 事 : 弁当持参 途中でコンビニに寄ります。

※昼食時の敷物をお持ち下さい。

### ※ コ ロ ナ 対 策

- ・マスク着用・密集回避をお願いします。
- ・発熱・体調不良の方は参加をご遠慮ください。
- ・当日集合場所で検温を実施します。その結果が 37°5 分以上の方は参加を控えていただくこととなりますのでご理解とご了承をお願いいたします(体温を確認の上おいでください)

◆ 雨天中止:前日の午後8:45分のNHKニュース中の天気予報で、奈良県北部の午前中の降水確率が60%以上であれば中止。

※不明の時は会長(携帯080-6112-3406)まで。

### 《交通機関のご案内》

※生駒線利用の方は次の電車でおいで下さい

近鉄 生駒 駅	↓ 8:08分発	王寺行きに乗車
〃 萩の台 駅	↓ 8:10分発	↓ ↓ ↓
〃 東山 駅	↓ 8:19分発	↓ ↓ ↓
〃 元山上口 駅	↓ 8:21分発	↓ ↓ ↓
〃 平群 駅	↓ 8:24分発	↓ ↓ ↓
〃 竜田川 駅	↓ 8:27分発	↓ ↓ ↓
〃 王寺 駅	↘ 8:33分着	下車、乗換
JR 王寺 駅	✓ 8:49分発	大和路線普通大阪難波行きに乗車
JR 柏原 駅	↘ 9:01分着	下車、近鉄電車に乗換
近鉄 柏原 駅	✓ 9:12分発	①番線/道明寺線道明寺行に乗換
近鉄 道明寺	↘ 9:16分着	下車

### ◇◇◇ 大阪方面から

近鉄/阿部野橋駅 8:54発/近鉄/道明寺駅9:12着の南大阪線準急橿原神宮前行きに乗車し、近鉄道明寺駅で下車

### ◇◇◇ JR 奈良方面から

JR 奈良駅 8:30発/柏原駅9:01分着の大和路快速に乗車、王寺駅で下車し、8:49発普通難波行に乗り換え平群グループに合流。

柏原駅で下車し、①番線 9:12 発近鉄道明寺行に乗車

※大和路快速は柏原駅は停車しないので、王寺駅で普通に乗り換えて下さい

## 4月例会報告

＜聖徳太子シリーズ4＞ 太子葬送の道歩く

春を飛び越えて初夏を思わせるぽかぽか陽気に恵まれました。

起点の **JR 畠田駅** に集合し、当日の行程説明の後、畠田の旧家が並ぶ道を通って最初の訪問先の**火幡神社**に着いた。ここで繁田さんから次の説明があった。

式内社、伊予国（現在の愛媛県）の土地を神封（神社に寄進された土地）として与えられている。

旧拝殿は明神山頂にあった送迎大明神の社殿を移したものであったが、現在の建物は昭和46年の再建。かつては「なもで踊り」が奉納された等々。

ついで王寺町の公園「泉の広場」で休憩して芦田池で足を止めた。飛鳥時代の記録にある「片岡池」とも言われ、聖徳太子が一夜で造ったという伝承がある。



畠田駅前で行程説明



火幡神社



芦田池

次にコンビニに寄った後、**親殿神社**に正午前に着いた。ここは中世土豪の片岡氏ゆかりの神社との説明を聞いてから境内で日陰を求めて昼食タイムに入った。

なだらかな坂道を登ってそろそろ疲れが出始めた頃、**孝霊天皇陵**に着いた。ここでは会員の岩本さんから次の説明があった。

第7代天皇。106才（日本書記128才）**欠史八代**の天皇。宮は黒田（田原本）の**蘆戸宮**。吉備を平定した。鬼退治伝承や卑弥呼の父説がある。

再び坂を戻り**放光寺**を訪れた。ここでは本堂の本尊にある十一面観音を拝観し、ご住職から次の説明があった。

聖徳太子建立。元は片岡王寺（片岡僧寺）四天



放光寺でご住職の説明を聞く

王寺式伽藍配置。落雷や兵火によって消失したが1700年頃鉄牛という僧が再建したのが現在の放光寺。王寺町の名称の由来は「片岡王寺」から。

放光寺を後にして、隣の片岡神社「式内社」祭神：五社大明神を参拝して最後の訪問先の達磨寺に着く。本堂内に陣取りあらかじめ予約していた王寺ボランティアガイドの会のガイドさんから寺の縁起、本尊、境内の名所などについて説明して頂いた。その後、岩本さんの案内で境内を見学した後、解散し帰路についた。

説明・案内役の皆様ご苦労様でした。(河本)

参加者：31名(会員29名、当日会員2名)

※4月例会に参加されなかった方で、資料を希望される方は  
会長までご連絡下さい

## お知らせとお願い

先日前配りました機関紙「烏兔」創刊100号記念冊子『平群町/四国  
霊場八十八ヶ所石仏』に印刷ミスがありました。

申し訳ありませんが、シールを同封しますので下記要領にて貼り付けをして  
頂きたく、よろしくよろしくお願いいたします。

### 修正箇所

- 1.「平群町/四国霊場八十八ヶ所石仏一覧」の最後(4ページ)の第88番が抜けています。同封の第88番のシールを貼ってください。

第87番		十一面観音菩薩	讃岐国・補陀落山長尾寺	
第88番	若井墓地内	薬師如来坐像	讃岐国・医王山・大窪寺	4

第87番の下に修正シールを貼る

### 2.MAP:4

巻末のMAP:4の地図左下地名

×「岩井」→○「若井」

岩井の上に修正シールを貼る

さかきやま よしひろ

榊山 義弘 (三 里)

(4月例会～太子シリーズ4～に当日会員として参加して頂きました)

## みんなのひろば

我が家には愛猫のヨシ子（8歳）がいる。別に私達夫婦が猫好きで飼っているわけではなく、ある日娘と孫が持ち込み、置いていったものである。飼ってみるとそれなりに可愛いもので猫の話題で夫婦間のコミュニケーションが良くなった気がする。

ところが最近私とヨシ子の間で困ったことが起きている。席取りバトルである。私の食卓定席をヨシ子が占拠することが多くなり、心優しい私は追い出すことも出来ずに食器を抱えて事務机に退却することが多くなった。

どうもヨシ子は世話をしてくれる妻が一番、自分は二番、何もしない私は三番とランク付けをしているようだ。相手は妻も味方に付けているので勝ち目が無い。



( Y.K )

「平群町/四国霊場八十八ヶ所石仏」冊子の紹介  
記事が読売新聞に掲載されました

平群「四国霊場八十八ヶ所石仏」

新発見の  
10体含む

現存41体を考察

平群町にほとんど知られていない石仏群が存在する。「平群町 四国霊場八十八ヶ所石仏」。四国八十八ヶ所霊場の各寺と本尊を表した石仏群について、町内在住の「平群史蹟を守る会」会員清水愔さん(77)が調査し、その成果を同会機関誌「烏兎(うと)」の創刊100号記念別冊にまとめた。新発見の10体を含む現存41体を考察、江戸時代後半に大阪の豪商が寄進したものである可能性を明らかにしている。

南東部から時計回りに分布

石仏群は四国八十八ヶ所霊場を模して平群町全域(一部斑鳩町)に祭られたもの。1975(昭和50年)に「烏兎」

で初めて存在が報告された。ただ、以来50年以上が経過し、石仏の劣化が進行。行方不明になったものや祭祀場所が変



平群町に存在する四国霊場八十八ヶ所石仏と調査をした清水さん(向町様原)

清水さん、成果を冊子に

わったものもあったという。

清水さんは「今のうちに現状を記録しないといけない」との思いを強くし、2019年から本格的に調査を開始。地域住民に聞き取りしながら町内の石仏を歩いて探し回った。

地元には石仏については伝承がなく、八十八ヶ所石仏としても認知されず、防火の仏「愛宕さん」や子どもの病氣治療の仏など単体の石仏として祭られていることが分かった。

分布を見ると霊場の一番から八十八番まで、概ね平群町

弘法大師像と一組で設置

南西部から北西部、北東部、南東部へと時計回りに設置されていたことが判明。多くの事例から、弘法大師像とセットで祭られていることも明らかになった。

石仏には後背に霊場名と山号・寺院名、本尊名が刻まれ、台座正面には追悼者の名前、

同左側面には地名と寄進者の名前が彫られている。紀年銘はないものの、寄進者の名前には江戸時代後半の大阪の豪商と同一名が散見できることから、設置時期は同時期と考えられるという。

なぜ平群の地に設置したのだろうか。記録は見つからず、聞き取り調査でも情報はなかったが、清水さんは「平群には鎌倉時代の石造仏や摩崖仏が多くある。古代から山岳信仰も盛んで、大阪の商人たちにも信心され、参詣道沿いに寄進されたのではないかと推測する。

「これをきっかけに石仏の保存が進むと同時に、個人宅などで新たな石仏が見つければ」と期待する清水さん。「冊子を手巡らしてもらうことで、平群町の新たな文化遺産

になれば」と話す。

冊子は道の駅「大和路平群くまがしステーション」で販売。1冊500円。郵便振替でも入手できる。詳細は平群史蹟を守る会のホームページ参照。問い合わせは、同会、電話0745(445)8551